1 施設概要

(1) 基本的事項

施設名	尼崎市立女性・勤労婦人センター	施設所管課	総合政策局 ダイバ	バーシティ推進課
施設住所	尼崎市南武庫之荘3-36-1	竣工	S49.7(築満48年)	
設置目的	女性の自立及び社会参加の促進、女子労働者	の福祉の増	進	
主な事業内容	①女性・勤労婦人センターの維持管理業務②利 ③設置目的の達成のための事業(啓発・就労支 の育成)等			
指定管理者名	特定非営利活動法人 男女共同参画ネット尼崎	指定期間	自 R2.4.1	至 R7.3.31
(-) 11 14-11	1 . d + bl 1 - br =	-		

(2) 施設の政策的な特性に係る事項

307773771	A(施設維持管理に加え、市の政策目的に沿った取組を、市と協働で展開していく施設)	
	✓専門的なノウハウを生かした市の施策目的に資する事業実施✓効率的な施設維持管理運営 □団体等の担い手としての成長	
	□ その他(

3 市と指定管理者が年度当初に共有した目標及び達成状況等の評価 施設目標の達成に向けた取組(指定事業の効果的な実施、自主的な取組の実施)

今年度の取組方針や目標(前年度末又は指定初年度当初に協議し決定)

啓発講座については、より人権への関心が高まるような講座の実施を企画する。また、講座受講者はもとより、貸室 利用者についても満足が得られる施設管理運営を行う

啓発講座の受講者に対して実施するアンケートについて概ね8割が人権への関心が「高まった」「まあ高まった」と 回答している。(指標②) 貸室利用者について、利用者アンケートの結果「施設全般の満足度」について概ね6割 が「大変満足」「満足」と回答している。 (指標①)

(参考) 有効性に関する指標の設定及びその状況

Įŧ	指 標 ①:「施設全般の満足度」に「大変満足」「満足」と回答した割合(単位:%)											
Г	年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
Γ	目標	-	-	-	-	-	-	62%	63%	64%	65%	66%
Г	実績	60%	60%	58%	64%	69%	78%	61%				
	達成度	ı	-	-	-	-	-	98%				
Г	評価	-	-	-	-	-	-	0				

「講座に参加する前よりも『人権』への関心がさらに高まりましたか?」について「高まった」 |指標②: |

「よの信	- *** ** 「まの高まつに」と凹合しにの割合(単位・% <i>)</i>										
年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
目標	-	-	-	-	-	1	87%	88%	89%	90%	91%
実績	ı	ı	-	-	ı	86%	87%				
達成度	-	-	-	-	-	1	100%				
評価	-	-	-	-	-	-	0				

◎目標を大きく上回った/上限値に近い実績で推移している、○目標を(概ね)達成した、△目標未達(事情あり)、×目標未達(事情なし)

①決められた指定管理料内で、市民サービスが維持・向上されているか 今年度の取組方針や目標(前年度未又は指定初年度当初に協議し決定)

経費を効率的に低減するための工夫を行う。

実施結果及び評価

警備、各種保守点検(エレベーターの保守点検は除く)などを5年間で契約することで経費をおさえる 工夫を行っている。修理は、できる限りまとめて行い、業者の見積もりや出張料を抑えている。講座につ いては、共催事業等の実施により単独で実施する以上に経費削減の効果を上げている。

0

市民サービスが、◎大幅に向上した、○維持・向上した、△低下した(特別な事情あり)、×低下した(事情なし)

②効率性と環境に配慮した施設管理とを両立できているか

キー (前年度末又は指定初年度当初に協議し決定)

物品を購入する際には環境負荷の少ない商品を購入すること(グリーン購入)を推進する。また、環境配慮につな がる取組を実施する。

率 実施結果及び評価

グリーンカーテンを設置し環境配慮に取り組んだ。敷地周りの除草、害虫駆除を行い、年に2回花を植 えた。また、再生紙の購入、裏紙使用、印刷機トナーのリサイクル品を利用している。古紙はゴミとして 捨てずに回収業者に依頼し再資源化に努めるとともに、効率的な運営を高い水準で両立している。

0

◎高水準で両立している、○両立している、△両立しているとまではいえない、×環境への配慮が不足している

(参考) 経費の状況(単位:円)

	収	入			支出		
項目	予算額	決算額	差引	項目	予算額	決算額	差引
指定管理料	58,529,000	58,529,000	0	人件費	23,599,000	24,254,936	-655,936
補助金	0	280,000	280,000	事業費	11,016,000	10,361,160	654,840
			0	施設維持管理運営費	18,425,000	17,409,903	1,015,097
			0	その他	5,769,000	6,487,499	-718,499
収入計	58,529,000	58,809,000	280,000	支出計	58,809,000	58,513,498	295,502

2 指定期間全体を通じての目標・実績

(1) 指定管理者の選定及び指定に当たって重視された事項(選定委員会での主な意見又は市の意思決定理由)

里倪ごれた事 垻	「市民の平等な利用が確保されるものであるか」「女性センターの効用を最大限に発揮させるものであるか」「女性センターの管理に係る経費の縮減が図られるものであるか」「女性センターの管理を安定して行う能力を有しているものであるか」今後、第5期の5年間、これまでの経験と実績を活かしつつも、時宜にかなった地域課題解決に向けた新規事業の展開を図ることを期待する。
指定管理者自身	「ジェンダー平等と多様性を尊重する社会推進の拠点施設を目指して」を目標に、「誰一人取り残さない」というSDGsの理念に基づき、SDGsの目標5である「ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児の能力強化を行う」を重点的に行う。

(2) 市と指定管理者の協議によって設定する日標

施訓		尼崎市の男女共同参画推進の拠点施設として事業を実施し、性別にかかわりなく生きやすい社会の実現を目指すこと。							
目	指標	「トレピエが	トレピエが男女共同参画を推進する施設である事を知っているか」に「はい」と回答した割合						
標	指定期間	R2	R3	R4	R5	R6	達成状況の評価		
指標	目標値	-	-	80%			積極的に周知しているが、目標達成に		
標	実績値	76%	78%	69%			は至らなかった。		

_							
	法令遵守						
	施設の管理運営や設備点検、訓練等を適正に行っているか	適正					
	貸与備品等について台帳を整備し、適切に管理しているか	適正					
	公文書管理条例の趣旨に則り、文書を管理しているか。協議録等、必要な文書を作成しているか	適正					
	個人情報保護条例や情報公開に係るルールを遵守しているか	適正					
	公共調達基本条例、暴力団排除条例、その他の法令は遵守されているか	適正					
	施設の経営状況						
適	収支及びその結果報告や変更時の報告・連絡・相談が適切・適正にされているか	適正					
正	指定管理者自身の経営状況は健全か	適正					
性	危機管理-事故防止の安全対策や防犯・防災対策が適切にとられているか						
	災害時の対応について、市との協議・共有が図られているか	適正					
	災害時や緊急時のマニュアルを作成し、定期的に訓練等を行っているか	適正					
	災害時や緊急時の対応責任者、責任体制は整備されているか	適正					
	履行状況-提案時及び年度当初の計画等のとおりに業務を行ったか						
	年度事業計画書における計画どおりに業務が遂行されたか	適正					
	選定時の提案内容が実施されているか	適正					
	業務マニュアルを定めるなど、安定的に履行できるよう取り組んでいるか	適正					
	関係性の構築						

月1回程度の意見交換会を行うほか、日々細やかな連絡を互いに密にすることで、信頼関係が深まった 協働の状況(グループAは協働の相乗効果の視点、グループBはパートナーシップを踏まえた施設管理業務の状況)

令和2年度指定管理者監査における指摘への対応について、令和3年度に協議を重ねた解決策について、令和4 年度は実施に向けて互いに案を出し合い、喫茶コーナーを就労支援コーナーに活用するなど、効果的な事業を 実現 することができた

指定管理者の考える成果と課題及びより良い施設維持管理に向けた市への提案事項(総括)

コロナ禍でより困難な状況を抱える女性に向けた就労支援が求められる。自主事業で行っていた資格取得講座に 代わる新たな事業(就職活動に直接役立つスキルを習得するしごと準備講座、パソコン講座をセットにした連続講 |座、単独でも参加できる就労応援セミナー)を企画・実施するとともに、市とも連携して就職支援品の寄贈を募り、就 活用メイク講座、相談ブース(就労・生活・女性の悩み)を併設した就労応援フェアをカフェスペースを活用して実 施した。フェア開催後も就職支援品は継続して提供を行っている。また、ジェンダーが影響する課題として、「生理 の貧困」「改正育児・介護休業法」に関する講座を企画・実施した。施設管理についても、都度市と協議を行い、現 状維持のための修繕を行った。令和5年度も同様に就労支援講座、パソコン講座、応援フェアの実施を計画してお り、市民のニーズや時流を読み、男女共同参画の啓発を企画していく。

|市の考える成果と課題及びより良い施設維持管理に向けた指定管理者への提案事項(総括)

令和4年度に実施した就労支援については、企画段階から協議を重ね事業を実施することができた。令和5年度に おいては、非正規雇用の雇用止めなど、特に女性への影響が強く表れておりコロナ禍などにより孤独・孤立で不安 を抱える女性が、社会との絆やつながりを回復できるよう、支援者ネットワークのための研修及び交流会や、女性の 居場所事業などを指定管理事業として「女性のつながりサポート事業」を実施する予定である。事業の実施にあ たっては、指定管理者と協議を重ね協働して事業を実施する必要がある。また、施設の老朽化に伴う建替等、これ からの尼崎市女性センタートレピエのあり方について附属機関の意見も踏まえて検討していく必要がある。

双方の総括を踏まえた協議の結果及び今後の取組の方向性(単年度及び指定期間中の目標を踏まえて記載)

「女性のつながりサポート事業」については、支援者ネットワークの構築のために民間支援団体へ共に現場へ足を 運ぶとともに、協議を重ね、互いに協力しながら事業を実施していく。また、施設の老朽化に伴う建替等についても 女性センターの今後のあり方について附属機関の意見も踏まえて協議を重ねていく。

施設概要

施設名	尼崎市立地域総合センター上ノ島	施設所管課	総合政策局	地域総合	センター担当	
施設住所	尼崎市南塚口町8-7-25	竣工	R4.3(築満1年	≡)		
設置目的	・地域住民をはじめとする市民相互の交流の促進 ・人権啓発意識の普及高揚の促進					
主な事業内容	市民相互の交流の促進、講座や講演会等を通じた市民の学びと人権啓発意識の促進・支援					
指定管理者名	社会福祉法人 いきいきのびのび	指定期間	自 R2.4.	.1 至	R7.3.31	

(2) 施設の政策的な特性に係る事項

 A(施設維持管理に加え、市の政策目的に沿った取組を、市と協働で展開していく施設)	
■専門的なノウハウを生かした市の施策目的に資する事業実施■効率的な施設維持管理運営 □団体等の担い手としての成長□その他()

3 市と指定管理者が年度当初に共有した目標及び達成状況等の評価

施設目標の達成に向けた取組(指定事業の効果的な実施、自主的な取組の実施)

今年度の取組方針や目標(前年度末又は指定初年度当初に協議し決定)

これまで実施してきた事業の継続と新規事業、とりわけ、子どもの居場所事業の発展に努める。

毎日実施している子どもの居場所事業について、前年を大きく上回る来館者数を達成した。子ども達にとって魅力 的な施設となるように、職員の接遇向上にも努めた。市立尼崎高等学校女子バスケットボール部の皆さんをお招き して指導をお願いするなど新たな取り組みも行った。(指標②)

(参考)有効性に関する指標の設定及びその状況

ı	- 73

指 標 ①: 各講座	に係る	引用者清	起度(皇	单位:%))						
年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
目標	-	-	-	-	-	-	90.5%				
実績	-	-	-	-	-	90.5%	93.4%				
達成度	-	-	-	-	-	-	103%				
評価	-	-	-	-	-	-	0				

рт рц											
指標②:子どもの居場所事業の利用者数(単位:人/日)											
年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
目標	-	-	-	-	-	-	23.7				
実績	27.1	23.7	20.2	14.3	11.3	10.4	29.9				
達成度	-	-	-	-	-	-	126%				
並 (正		_	_	_	_	_	0				

②目標を大きく上回った/上限値に近い実績で推移している、○目標を(概ね)達成した、△目標未達(事情あり)、×目標未達(事情なし)

D決められた指定管理料内で、市民サービスが維持・向上されているか

今年度の取組方針や目標(前年度末又は指定初年度当初に協議し決定)

新しい施設を運営していくに当たり、安定的な施設運営体制の確立に努める。

実施結果及び評価

各種保守契約の履行、館内及び敷地内の巡視を徹底して行い、安全で安定した運営を実施した。

0

市民サービスが、◎大幅に向上した、○維持・向上した、△低下した(特別な事情あり)、×低下した(事情なし) ②効率性と環境に配慮した施設管理とを両立できているか

今年度の取組方針や目標(前年度末又は指定初年度当初に協議し決定)

OA機器の使用電力量、コピー用紙の使用量の抑制を実施する。

実施結果及び評価

「エコオフィスづくり指針」に定める項目の遵守に努めた。事務室のパソコンについて、①ディスプレイの… 照度を下げる、②スリープモードに設定して離席の際の省電力を実施する、③使用頻度の低い機器は コンセントを抜く、などを励行した。コピー用紙について、出力の際にプリントミスがないようにページ範 囲・両面印刷について指さし確認を行った。また、裏紙については再利用を行った。こういった取組は 目常の業務の中で習慣化して行われるもので、効率性も両立しているといえる。

0

◎高水準で両立している、○両立している、△両立しているとまではいえない、×環境への配慮が不足している。

(参考) 経費の状況(単位:円)

	収			支出						
項目	予算額	決算額	差引	項目	予算額	決算額	差引			
指定管理料	42,671,000	42,671,000	0	人件費	28,326,000	28,773,255	-447,255			
補助金	0	73,000	73,000	事業費	2,500,000	2,015,502	484,498			
				施設維持管理運営費	8,136,000	7,677,683	458,317			
				その他	3,709,000	3,524,788	184,212			
収入計	42,671,000	42,744,000	73,000	支出計	42,671,000	41,991,228	679,772			

2 指定期間全体を通じての目標・実績

(1) 指定管理者の選定及び指定に当たって重視された事項(選定委員会での主な意見又は市の意思決定理由)

重視された事項	総合センターの効用を最大限に発揮させるとともに、その管理運営に係る経費の縮減を図る。
指定管理者自身 が設定した目標	新しい発想で明るく楽しい魅力ある、誰もが利用したいと思える総合センターづくりを目指す。

(2) 市と指定管理者の協議によって設定する目標

放	設のありたい姿	地域住民等	地域住民等の人権啓発の拠点であり、地域コミュニティの拠点となる施設										
E	指標	「人権問題	人権問題に対して無関心もしくは興味がない」と感じる市民の割合(%)										
桐	指定期間	指定期間 R2 R3 R4 R5 R6 達成状況の											
指	目標値	-	-	34.92%			_						
桐	実績値	34.92%	39.62%	30.41%			_						

	法令遵守	
	施設の管理運営や設備点検、訓練等を適正に行っているか	適正
	貸与備品等について台帳を整備し、適切に管理しているか	適正
	公文書管理条例の趣旨に則り、文書を管理しているか。協議録等、必要な文書を作成しているか	適正
	個人情報保護条例や情報公開に係るルールを遵守しているか	適正
	公共調達基本条例、暴力団排除条例、その他の法令は遵守されているか	適正
	施設の経営状況	
退	¶ 収支及びその結果報告や変更時の報告・連絡・相談が適切・適正にされているか	適正
Į		適正
性	□ 危機管理 - 事故防止の安全対策や防犯・防災対策が適切にとられているか	
	災害時の対応について、市との協議・共有が図られているか	適正
	災害時や緊急時のマニュアルを作成し、定期的に訓練等を行っているか	適正
	災害時や緊急時の対応責任者、責任体制は整備されているか	適正
	履行状況-提案時及び年度当初の計画等のとおりに業務を行ったか	
	年度事業計画書における計画どおりに業務が遂行されたか	適正
	選定時の提案内容が実施されているか	適正
	業務マニュアルを定めるなど、安定的に履行できるよう取り組んでいるか	適正
	関係性の構築	

月1回の意見交換会を行うほか、適時の報告・連絡・相談を互いに密にしている。

協働の状況(グループAは協働の相乗効果の視点、グループBはパートナーシップを踏まえた施設管理業務の状況)

新施設への事業展開について、市と指定管理者が緊密に連絡を取りながら慎重に進めることで、大きな問題なく遂 行することができた。センター利用者や相談者等、地域でケアを必要とする場合には、市の保健福祉の担当者・学 校関係者も交え、ケースカンファレンスを実施し、必要な支援の一助とする事業の実施ができた。

指定管理者の考える成果と課題及びより良い施設維持管理に向けた市への提案事項(総括)

施設の建替が実施されたが、高齢者食事サービスや塚口みんなの食卓などの従前からの事業を継続して実施でき た。また、新しい施設での運営の中で新たな市民の利用増加に努めた。今後は貸館利用者を含む新規利用者を 中心に人権意識の普及高揚に努めたい。なお、主に館管理面における法令等の情報については、所管課と情報 共有を図りたい。

市の考える成果と課題及びより良い施設維持管理に向けた指定管理者への提案事項(総括)

新施設では子どもの利用が伸びており、感染症対策等にも配慮している点も評価できる。新たな施設としてオーブ *、*たこともあり、今まで利用できなかった方々にも声をかけ、広く活用される施設となるよう期待する。また、従来か ら利用していた方々に対しても、新たな事業の提案を行うなど、その時々のニーズに対応した企画に努めてもらい

双方の総括を踏まえた協議の結果及び今後の取組の方向性(単年度及び指定期間中の目標を踏まえて記載)

今後とも連絡を密にしながら事業を展開していく。館管理面における遵守事項等や、市の考え方についても随時共 有する場を持ち、指定管理業務の適正執行に努める。

1 施設概要

(1) 其木的事項

施設名	尼崎市立地域総合センター神崎	施設所管課	総合政策局 地域	総合センター担当					
施設住所	尼崎市神崎町14-22	竣工	S58.7(築満39年)、	, H27.3(築満8年)					
設置目的	・地域住民をはじめとする市民相互の交流の促進 ・人権啓発意識の普及高揚の促進								
主な事業内容	市民相互の交流の促進、講座や講演会等を通じた市民の学びと人権啓発意識の促進・支援								
指定管理者名	特定非営利活動法人 スマイルひろば	指定期間	自 R2.4.1	至 R7.3.31					

(2) 施設の政策的な特性に係る事項

(一) ひじロスマンシハンドーコ	O THE CALCULATION OF THE CALCULA	
施設分類	A(施設維持管理に加え、市の政策目的に沿った取組を、市と協働で展開していく施設)	
主として期待	■専門的なノウハウを生かした市の施策目的に資する事業実施■効率的な施設維持管理運営 □団体等の担い手としての成長□その他()

3 市と指定管理者が年度当初に共有した目標及び達成状況等の評価

施設目標の達成に向けた取組(指定事業の効果的な実施、自主的な取組の実施) 今年度の取組方針や目標(前年度末又は指定初年度当初に協議し決定)

新型コロナウイルス感染症の影響で休止・縮小していた事業を再開するとともに、引き続き啓発事業を展開してい

実施結果

地域交流事業をはじめ、全事業における参加者が23,558人と前年比13%増となり、啓発事業も他団体との共同で 実施した。また、性教育といった新たな分野での啓発事業も展開した。

(参考) 有効性に関する指標の設定及びその状況

指 標 ①: 事業清	記度(単	位:%)									
年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
目標	-	-	-	-	-	-	80%				
実績	-	-	-	-	-	-	95%				
達成度	-	-	-	-	-	-	119%				
評価	-	-	-	-	-	-	0				

H I III)				
指標②:事業参加人数(性教育)(単位:人)											
年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
目標	-	-	-	-	-	-	60				
実績	T -	-	-	-	-	-	54				
達成度	-	-	-	-	-	-	90%				
評価	_	-	-	-	-	-	0				

◎目標を大きく上回った/上限値に近い実績で推移している、○目標を(概ね)達成した、△目標未達(事情あり)、×目標未達(事情なし)

①決められた指定管理料内で、市民サービスが維持・向上されているか

今年度の取組方針や目標(前年度末又は指定初年度当初に協議し決定)

施設利用者に快適に利用してもらうため、備品整備と施設の充実に努める。

実施結果及び評価

青少年の居場所スペースに憩いの場として利用できるように畳の間を新たに設置した。また、書籍を追 加で購入して充実させ、バドミントンや卓球用具を更新して配置するなどした。

0

市民サービスが、◎大幅に向上した、○維持・向上した、△低下した(特別な事情あり)、×低下した(事情なし)

②効率性と環境に配慮した施設管理とを両立できているか 今年度の取組方針や目標(前年度末又は指定初年度当初に協議し決定)

照明のLED化を進めるとともに、グリーン購入や小まめな照明及び空調機のON・OFFに努める。

実施結果及び評価

全館LED化して館内の照度を全体的に上げ、安心・安全な施設整備に取り組んだ。 グリーン購入や小まめな照明及び空調機のON・OFFについては今年度も達成した。 こういった取組は日常の館の管理に付随して行われるもので、効率性も両立しているといえる。

0

○高水準で両立している、○両立している、△両立しているとまではいえない、×環境への配慮が不足している。

(参考) 経費の状況(単位:円)

	収	入		支出						
項目	予算額	決算額	差引	項目	予算額	決算額	差引			
指定管理料	38,389,000	38,389,000	0	人件費	26,000,000	24,947,109	1,052,891			
補助金	0	76,000	76,000	事業費	2,200,000	1,443,697	756,303			
				施設維持管理運営費	6,632,000	8,531,197	-1,899,197			
				その他	3,557,000	3,521,442	35,558			
収入計	38,389,000	38,465,000	76,000	支出計	38,389,000	38,443,445	-54,445			

2 指定期間全体を通じての目標・実績

(1) 指定管理者の選定及び指定に当たって重視された事項(選定委員会での主な意見又は市の意思決定理由)

重視された事項	施設の効用を最大限に発揮させるとともに、施設の管理を安定して行う。
	地域の拠点施設として、地域住民の活動を支えるとともにあらゆる差別問題解消に向けた施策を展開する。

(2) 市と指定管理者の協議によって設定する目標

施設のありたい姿 地域住民等の人権啓発の拠点であり、地域コミュニティの拠点となる施設												
目標指標	指標	「人権問題は	権問題に対して無関心もしくは興味がない」と感じる市民の割合(%)									
	指定期間	R2	R3	R4	R5	R6	達成状況の評価					
	目標値	-	-	21.78%			_					
	実績値	30.23%	13.33%	14.51%			-					

		法令遵守	
		施設の管理運営や設備点検、訓練等を適正に行っているか	適正
	貸与備品等について台帳を整備し、適切に管理しているか	適正	
	公文書管理条例の趣旨に則り、文書を管理しているか。協議録等、必要な文書を作成しているか	適正	
		個人情報保護条例や情報公開に係るルールを遵守しているか	適正
- 1		公共調達基本条例、暴力団排除条例、その他の法令は遵守されているか	適正
- 1		施設の経営状況	
- 1	適	収支及びその結果報告や変更時の報告・連絡・相談が適切・適正にされているか	適正
- 1	Ī	指定管理者自身の経営状況は健全か	適正
- 1	性	危機管理-事故防止の安全対策や防犯・防災対策が適切にとられているか	
- 1		災害時の対応について、市との協議・共有が図られているか	適正
- 1		災害時や緊急時のマニュアルを作成し、定期的に訓練等を行っているか	適正
- 1		災害時や緊急時の対応責任者、責任体制は整備されているか	適正
- 1		履行状況-提案時及び年度当初の計画等のとおりに業務を行ったか	
		年度事業計画書における計画どおりに業務が遂行されたか	適正
		選定時の提案内容が実施されているか	適正
		業務マニュアルを定めるなど、安定的に履行できるよう取り組んでいるか	適正
		関係性の構筑	

指定管理者と市所管課との月例会議以外にも、随時個別の意見交換など行っており、課題を共有することができ

協働の状況(グループAは協働の相乗効果の視点、グループBはパートナーシップを踏まえた施設管理業務の状況)

人権啓発を効果的に行うため、各種団体と共催で講演会や研究会を開催した

- ・今後の人権学習や居場所事業、学校現場の人権教育を推進するため、小学校の研究会との共催事業として性教 育に関する調査研究会を開催した
- ・小田南生涯学習プラザにおいて小田地域課と共催で、子育て教室を開催し、専門講師によるカウンセリングを 行った
- この他、各種団体との繋がりを大切にし、今後の事業展開を常に模索・実施している。

|指定管理者の考える成果と課題及びより良い施設維持管理に向けた市への提案事項(総括)

地域の拠点施設として人権問題を広く市民に理解してもらい、差別のない地域社会を構築するため、当センターで は「こども若もんの居場所事業」「ハンセン病問題」「性の多様性問題」を事業の三本柱とし、加えて地域コミュニティ の醸成にも継続的に取り組んでいる。青少年には、社会ルールの礎となるよう指導を積極的に行い、啓発事業につ いてはその手法(実施内容や場所等)について効果的なものになるよう研究を続けている。 設備面では、外壁の塗 装を実施したが、室内の空調設備の更新については工事費用が高額になることから、今後、市と整備等について 検討していきたい。運営全般については、指定期間が5年であることから、指定管理事業単体では職員の継続的な 雇用や育成が難しいことがある。

|市の考える成果と課題及びより良い施設維持管理に向けた指定管理者への提案事項(総括)

事業展開を戦略的に進める姿勢は評価できる。設備面については今後予定されている長寿命化工事も踏まえ、協 議していきたい。職員の確保については、指定管理事業の運営の前提になるものであり、引き続き取り組んでもら いたい。また、近隣企業との地域交流や人権啓発についても取組みを進めてもらいたい。

双方の総括を踏まえた協議の結果及び今後の取組の方向性(単年度及び指定期間中の目標を踏まえて記載)

今後とも連絡調整を密にしながら、事業展開等について推進していくとともに、施設維持については引き続き協議 ていく。また、職員の確保については、引き続き取り組む。

1 施設概要

(1) 其木的事項

\ I \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \							
施設名	尼崎市立地域総合センター水堂	施設所管課	総合政策局 地域	総合センター担当			
施設住所	尼崎市水堂町2-35-1	竣工	S49.9(築満48年)、	S56.3(築満42年)			
設置目的	・地域住民をはじめとする市民相互の交流の促進 ・人権啓発意識の普及高揚の促進						
主な事業内容	市民相互の交流の促進、講座や講演会等を通じた市民の学びと人権啓発意識の促進・支援						
指定管理者名	一般社団法人 水堂総合センター運営委員会	指定期間	自 R2.4.1	至 R7.3.31			

(2) 施設の政策的な特性に係る事項

	A(施設維持管理に加え、市の政策目的に沿った取組を、市と協働で展開していく施設)	
	■専門的なノウハウを生かした市の施策目的に資する事業実施■効率的な施設維持管理運営 □団体等の担い手としての成長□その他()

3 市と指定管理者が年度当初に共有した目標及び達成状況等の評価

施設目標の達成に向けた取組(指定事業の効果的な実施、自主的な取組の実施)

コロナ禍の影響により休止していた人権講演会や行事を再開するとともに、高齢者向け事業を展開し、センター事 業への参加を呼びかけ、施設の利用者数の増を目指す。

実施結果

人権講演会を3回開催し、センター事業の参加者も増え、施設の利用者数を伸ばすことができた。

(参考) 有効性に関する指標の設定及びその状況

指 標 ①:事業満	足度(隼	位:%)									
年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
目標	-	-	-	-	-	-	80%				
実績	-	-	-	-	-	-	85%				
達成度	-	-	-	-	-	-	106%				
評価	-	-	-	-	-	-	0				
指標②:「コロナにまけない体づくり教室」参加者数(単位:人)											
在 度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8

指 標 ②: コロナ	ここまけ	ない体:	づくり教	至」参加]者奴(耳	⊉位:人)					
年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
目標	-	-	-	-	-	-	900				
実績	-	-	-	-	-	745	1,275				
達成度	-	-	-	-	-	-	142%				
評価	-	-	-	-	-	-	0				

②目標を大きく上回った/上限値に近い実績で推移している、○目標を(概ね)達成した、△目標未達(事情あり)、×目標未達(事情なし)

①決められた指定管理料内で、市民サービスが維持・向上されているか 今年度の取組方針や目標(前年度末又は指定初年度当初に協議し決定)

感染症対策を十分に実施したうえで、講演会等センター事業の参加者を増やし、一定の修繕にも対応していく。

実施結果及び評価

センター事業のPRに努め、施設利用者を増やすことができた。 電気代等経費の増が続くなか、利用者 から要望のあったトイレの照明のLED化も実施した。

市民サービスが、◎大幅に向上した、○維持・向上した、△低下した(特別な事情あり)、×低下した(事情なし)

②効率性と環境に配慮した施設管理とを両立できているか

今年度の取組方針や目標(前年度末又は指定初年度当初に協議し決定)

物品購入の際、積極的にグリーン購入を検討し、不要な電気の消灯に努める。

実施結果及び評価

積極的なグリーン購入、コピー用紙の裏紙利用、照明のLED交換等、環境に配慮した施設管理を実施 した。こういった取組は日常の事務や館の管理に付随して行われるもので、効率性も両立しているとい える。

0

 \bigcirc

◎高水準で両立している、○両立している、△両立しているとまではいえない、×環境への配慮が不足している (参考)経費の状況(単位:円)

	収	入		支出					
項目	予算額	決算額	差引	項目	予算額	決算額	差引		
指定管理料	45,592,000	45,592,000	0	人件費	29,760,000	28,887,862	872,138		
補助金	0	137,000	137,000	事業費	4,150,000	3,391,632	758,368		
				施設維持管理運営費	8,034,000	9,681,462	-1,647,462		
				その他	3,648,000	3,294,081	353,919		
収入計	45,592,000	45,729,000	137,000	支出計	45,592,000	45,255,037	336,963		

2 指定期間全体を通じての目標・実績

(1) 指定管理者の選定及び指定に当たって重視された事項(選定委員会での主な意見又は市の意思決定理由)

重視された事項	総合センターの効用を最大限に発揮させるとともに、その管理運営に係る経費の縮減を図る。
指定管理者自身 が設定した目標	利用者の安全とサービス向上を図り、利用者ファーストの運営を行う。

(2) 市と指定管理者の協議によって設定する目標

施設のありたい姿 地域住民等の人権啓発の拠点であり、地域コミュニティの拠点となる施設											
E	指標	「人権問題)	人権問題に対して無関心もしくは興味がない」と感じる市民の割合(%)								
I標指標	指定期間	R2	R3	R4	R5	R6	達成状況の評価				
		-	-	32.77%			_				
	実績値	32.77%	-	34.41%			_				

		法令遵守	
		施設の管理運営や設備点検、訓練等を適正に行っているか	要改善
		貸与備品等について台帳を整備し、適切に管理しているか	適正
		公文書管理条例の趣旨に則り、文書を管理しているか。協議録等、必要な文書を作成しているか	適正
		個人情報保護条例や情報公開に係るルールを遵守しているか	適正
		公共調達基本条例、暴力団排除条例、その他の法令は遵守されているか	適正
		施設の経営状況	
	-	収支及びその結果報告や変更時の報告・連絡・相談が適切・適正にされているか	適正
		指定管理者自身の経営状況は健全か	適正
1	生	危機管理-事故防止の安全対策や防犯・防災対策が適切にとられているか	
		災害時の対応について、市との協議・共有が図られているか	適正
		災害時や緊急時のマニュアルを作成し、定期的に訓練等を行っているか	適正
		災害時や緊急時の対応責任者、責任体制は整備されているか	適正
		履行状況-提案時及び年度当初の計画等のとおりに業務を行ったか	
		年度事業計画書における計画どおりに業務が遂行されたか	適正
		選定時の提案内容が実施されているか	適正
		業務マニュアルを定めるなど、安定的に履行できるよう取り組んでいるか	要改善
		関係性の構築	

月1回の意見交換会を行うほか、適時の報告・連絡・相談を互いに密にしている。

協働の状況(グループAは協働の相乗効果の視点、グループBはパートナーシップを踏まえた施設管理業務の状況)

地域の課題であるコロナ禍による高齢者の引きこもり対策として、前年度にスポーツ振興事業団に依頼して「コロナ にまけないからだづくり教室」を実施してきたが、今年度は同事業団と相談し、事業の魅力の発信に努めた結果、 当初10名程度の参加者を30名程度まで増やすことができた。また、地元各種団体の協力を得て、3年ぶりに堂松北 人権フェスティバル・文化交流展を開催することができた。

|指定管理者の考える成果と課題及びより良い施設維持管理に向けた市への提案事項(総括)

コロナ禍の影響が長期化する中、感染症予防に配慮した安全に参加できるセンター事業の魅力発信に努めたとこ ろ、センター利用者の大幅増に繋がった。また、センター利用者から要望のあったヨガ教室も新規に実施することが できた。このように、センターにコロナ禍前以上の利用者を獲得できたことが大きな成果と考える。今後とも、利用者 のニーズ把握に努めていきたい。一方、施設維持管理については、施設の老朽化が進んでおり、利用率の多い多 目的ホールの施設修繕の要望が強いが、大規模であり修繕費がかかるため、市との協議を進めたい。

|市の考える成果と課題及びより良い施設維持管理に向けた指定管理者への提案事項(総括)

コロナ禍の中、休止していた事業の再開や、講座参加者の増などを達成したのは、地元の各種団体の協力を取り 付けたことや、利用者のニーズを把握した結果と思われる。今後とも地元の各種団体や関係機関とのつながりを強 化するとともに、利用者のニーズ把握を元にした企画に基づく事業の展開を期待する。

施設修繕については、今後の建替えも視野に入れたなかで、協議していきたい。

一方、施設管理については、昇降機の維持管理に適切な対応ができていなかった。

管理運営体制についても、職員の入れ替わりが多く、職員の育成も十分でない状況が認められた。

現状では事業運営の安定性が懸念されることから、管理運営体制の改善案を提示するよう求めていたところ、職員 の早期補充や、指導・育成について、事務分担の見直し、センター全体の事業把握のためのミーティングの実施や 業務マニュアルの作成、リーダーとなる職員の育成などの改善案の提示があった。 今後とも改善案の進捗を引き続 き注視していく。

双方の総括を踏まえた協議の結果及び今後の取組の方向性(単年度及び指定期間中の目標を踏まえて記載)

電気料金等諸経費の高騰及び修理修繕については随時市と協議するなかで対応していく。地元の各種団体との 連携強化については、引き続き取り組んでいく。地域住民や利用者の意見も適宜聴取して分析し、市とも協議する なかで施設運営に反映していく。管理運営体制については、今後とも、定期的に協議していく。

1 施設概要

(1) 其木的事項

(I) ************************************							
施設名	尼崎市立地域総合センター今北	施設所管課	総合政策局 地域	総合センター担当			
施設住所	尼崎市西立花町3-14-1	竣工	S46.3(築満52年)				
設置目的	・地域住民をはじめとする市民相互の交流の促進 ・人権啓発意識の普及高揚の促進						
主な事業内容	市民相互の交流の促進、講座や講演会等を通じた市民の学びと人権啓発意識の促進・支援						
指定管理者名	特定非営利活動法人 人権センター東今北	指定期間	自 R2.4.1	至 R7.3.31			

(2) 佐部の政等的が特性に係る事項

(と) が記録ひが以外ロック	4.41に14.20世代	
施設分類	A(施設維持管理に加え、市の政策目的に沿った取組を、市と恊働で展開していく施設)	
主として期待	■専門的なノウハウを生かした市の施策目的に資する事業実施■効率的な施設維持管理運営 □団体等の担い手としての成長□その他(

市と指定管理者が年度当初に共有した目標及び達成状況等の評価

施設目標の達成に向けた取組(指定事業の効果的な実施、自主的な取組の実施)

『年度の取組方針や目標(前年度末又は指定初年度当初に協議し決定)

指定事業の実施に当たっては、地域住民(市民)の参画を得ながら、より効果的に実施していく。

主な指定事業である「地域交流文化祭」や人権啓発推進委員会に関わる事業など、企画段階から市民の参画を得 て実施し、講座事業については、概ね目標を達成している。高齢者対象講座や居場所事業も定着している(指標 ①)。子ども対象講座は応募者も多く、やむを得ず抽選する講座も増えている。その要因は、関係5校への公募チラ シ配布が結果として現れている(指標②)。今後の課題としては、子ども対象講座の拡大が望まれる。

(参考) 有効性に関する指標の設定及びその状況

ı	-
ı	**
ı	X)
ı	1.01
ı	77
ı	1-1

指 標 ①: 全講座	指 標 ①: 全講座に関する受講率(単位:%)(計算式:応募者数÷定員)										
年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
目標	-	-	-	-	-	-	82.14%				
実績	-	-	-	-	86.16%	82.14%	92.12%				
達成度	-	-	-	-	-	-	112.15%				
評価	-	-	-	-	-	-	0				

|指標②:子ども対象とする講座受講率(単位:%)(計算式:応募者数÷定員) 年度 H29 H30 R1 R2 R3 R4 R5 R6 R7 R8 日標 82.29% 実績 86.44% 82.29% 102.86% 達成度 125 00% 評価 (0)

◎目標を大きく上回った/上限値に近い実績で推移している、○目標を(概ね)達成した、△目標未達(事情あり)、×目標未達(事情なし)

D決められた指定管理料内で、市民サービスが維持・向上されているか

今年度の取組方針や目標(前年度末又は指定初年度当初に協議し決定)

前年度の利用実績を踏まえて、より効果的な事業を実施することにより、利用者サービスの向上を目指す。

実施結果及び評価

老朽化している施設の設備においては、利用者の目線に立ち、また要望を聞き取る中で、市民が利用 ンやすい施設設備の修繕(LED照明器具の交換)、増設(空調機器)を図り、市民サービスの向上に繋

0

市民ザービスが、◎大幅に向上した、○維持・向上した、△低下した(特別な事情あり)、×低下した(事情なし) ②<mark>効率性と環境に配慮した施設管理とを両立できているか</mark> 今年度の取組方針や目標(前年度末又は指定初年度当初に協議し決定)

物品を購入する際には、「環境物品等の調達の推進に関する基本方針」に準拠し、適合する環境負荷の少ない商 品を購入すること(グリーン購入)を検討する。また、不要な電気の消灯等に努めていく。

日常においては、職員の節電・節水等を意識しながら業務を行い、利用者にも呼びかけ理解と協力を 得ている。また、可能な限り印刷物での両面使用や内部資料の裏紙利用を推進している。こういった取 組は日常の事務や事業に付随して行われるもので、効率性も両立しているといえる。

0

◎高水準で両立している、○両立している、△両立しているとまではいえない、×環境への配慮が不足している

(参考) 経費の状況 (単位:円)

	収	入		支出					
項目	予算額	決算額	差引	項目	予算額	決算額	差引		
指定管理料	46,578,000	46,578,000	0	人件費	28,700,000	29,444,440	-744,440		
補助金	0	326,000	326,000	事業費	3,550,000	2,358,823	1,191,177		
				施設維持管理運営費	10,778,000	10,656,093	121,907		
				その他	3,550,000	3,122,208	427,792		
収入計	46,578,000	46,904,000	326,000	支出計	46,578,000	45,581,564	996,436		

2 指定期間全体を通じての目標・実績

(1) 指定管理者の選定及び指定に当たって重視された事項(選定委員会での主な意見又は市の意思決定理由)

重視された事項	施設の効用を最大限に発揮させるとともに、施設の管理を安定して行う。
	同和地区を含む地域の特性を最大限に発揮できる、コーディネート役を果たし、地域ブラットホーム になるように事業展開する。

(2) 市と指定管理者の協議によって設定する目標

施	設のありたい姿	地域住民等	地域住民等の人権啓発の拠点であり、地域コミュニティの拠点となる施設											
指標 「人権問題に対して無関心もしくは興味がない」と感じる市民の割合(%)														
標	指定期間	R2	R3	R4	R5	R6	達成状況の評価							
- 標	目標値	目標値 36.65%												
楞	実績値	38.46%	36.65%	35.00%			_							

	法令遵守						
	施設の管理運営や設備点検、訓練等を適正に行っているか	適正					
	貸与備品等について台帳を整備し、適切に管理しているか						
	公文書管理条例の趣旨に則り、文書を管理しているか。協議録等、必要な文書を作成しているか	適正					
	個人情報保護条例や情報公開に係るルールを遵守しているか	適正					
	公共調達基本条例、暴力団排除条例、その他の法令は遵守されているか	適正					
	施設の経営状況						
通	y 収支及びその結果報告や変更時の報告・連絡・相談が適切・適正にされているか						
ī		適正					
性	- 危機管理−事故防止の安全対策や防犯・防災対策が適切にとられているか						
	災害時の対応について、市との協議・共有が図られているか	適正					
	災害時や緊急時のマニュアルを作成し、定期的に訓練等を行っているか	適正					
	災害時や緊急時の対応責任者、責任体制は整備されているか	適正					
	履行状況-提案時及び年度当初の計画等のとおりに業務を行ったか						
	年度事業計画書における計画どおりに業務が遂行されたか	適正					
	選定時の提案内容が実施されているか	適正					
	業務マニュアルを定めるなど、安定的に履行できるよう取り組んでいるか	適正					
	関係性の構築						
	指定管理者と市との月例会議以外にも、適宜、相談や調整を行っている。						

協働の状況(グループAは協働の相乗効果の視点、グループBはパートナーシップを踏まえた施設管理業務の状況)

市と月1回の意見交換会を行い、コロナ禍の中、感染防止対策などの工夫を行い、事業を進めてきた。特に子ども の交流が途切れた中でのクリスマス会や餅つき大会(スライド視聴、模擬体験)の継続実施は効果的事業につな がった。さらに、尼崎市国際交流協会と日本語教室(共催事業)、ほっとぷらっとの会(子ども食堂)など、継続した 事業を展開した。今北・堂松南地域交流文化祭も令和3年度は縮小して開催していたが、令和4年度は市関係部局 等との協働により例年どおり開催することができた。令和5年度においても、今北地区の歴史にある皮革産業(和太 鼓)に関連した和太鼓ワークショップや演奏活動(アウトリーチ)などを自主事業として取り組み、より効果的な啓発 事業を展開する予定である。

|指定管理者の考える成果と課題及びより良い施設維持管理に向けた市への提案事項(総括)

これまで老朽化している施設の維持管理においては、利用者の目線に立った設備の充実、さらには安全面にも意 識した維持管理を図ってきた。また、大規模修繕でも尼崎市と意見交換を行い状況を共有しながら協議し進めてき ┃た。 今後においても、 老朽化が進んでいくことは必然であり、 引き続き市との協議を重ね利用者の安全・安心を目指 した維持管理に務める。

|市の考える成果と課題及びより良い施設維持管理に向けた指定管理者への提案事項(総括)

コロナ禍で縮小していた事業を再開するとともに、従来からの事業も継続的に実施できていること及び自主事業に ついて具体的な検討を進めていることは評価できる。施設維持管理については引き続き協議をしていきたい。

双方の総括を踏まえた協議の結果及び今後の取組の方向性(単年度及び指定期間中の目標を踏まえて記載)

今後は指定事業全体についてより実施・推進していくとともに、自主事業についても実施に向けて取り組む。施設 維持管理については、引き続き協議していく。

1 施設概要

(1) 基本的事項

施設名	尼崎市立地域総合センター南武庫之荘	施設所管課	総合政策局 地域総	総合センター担当
施設住所	尼崎市南武庫之荘11-6-15	竣工	S57.3(築満41年)	
設置目的	・地域住民をはじめとする市民相互の交流の促	進 ・人権啓	発意識の普及高揚	の促進
主な事業内容	市民相互の交流の促進、講座や講演会等を通	じた市民の	学びと人権啓発意識	この促進・支援
指定管理者名	公益社団法人 尼崎人権啓発協会	指定期間	自 R2.4.1	至 R7.3.31

(2) 施設の政策的な特性に係る事項

	A(施設維持管理に加え、市の政策目的に沿った取組を、市と協働で展開していく施設)	
	■専門的なノウハウを生かした市の施策目的に資する事業実施■効率的な施設維持管理運営 □団体等の担い手としての成長□その他()

3 市と指定管理者が年度当初に共有した目標及び達成状況等の評価

施設目標の達成に向けた取組(指定事業の効果的な実施、自主的な取組の実施)

今年度の取組方針や目標(前年度末又は指定初年度当初に協議し決定) 新型コロナウイルス感染症対応が続く中、地域住民の参画・連携の更なる推進に取り組む。

地域ボランティア団体と恊働して、こども食堂事業を継続して実施した。コロナ禍の中、利用者数の増を達成した。

(参考) 有効性に関する指標の設定及びその状況

指標 ①: アンケート等による利用者満足度(単位:%)											
年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
目標	-	-	-	-	-	-	84%				
実績	-	-	-	84%	85%	84%	81%				
達成度	-	-	-	-	-	-	96%				
評価	-	-	-	-	-	-	0				
指標②: なかよ	し食堂	参加者	(単位:ノ	()							
年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
目標(参加者)	-	-	-	-	-	-	1,200				
				4 000	05.4	1 100	1.004				
実績(参加者)	-	- 1	705	1,223	654	1,128	1,684				
実績(参加者) 達成度	-	-	705	1,223	654	1,128	1,684				

◎目標を大きく上回った/上限値に近い実績で推移している、○目標を(概ね)達成した、△目標未達(事情あり)、×目標未達(事情なし)

①決められた指定管理料内で、市民サービスが維持・向上されているか 今年度の取組方針や目標(前年度末又は指定初年度当初に協議し決定)

令和5年度実施予定の長寿命化工事を踏まえ、同工事外の修理修繕を行う。

実施結果及び評価

女子トイレの洋式化(2室)や集会室の舞台の取替など、利用者の要望に応えた修理修繕を実施した。

0

市民サービスが、◎大幅に向上した、○維持・向上した、△低下した(特別な事情あり)、×低下した(事情なし)

②効率性と環境に配慮した施設管理とを両立できているか

今年度の取組方針や目標(前年度末又は指定初年度当初に協議し決定)

グリーン購入を実施するとともに、不要な電気の消灯、照明の間引きに努めた。

実施結果及び評価

不要な電気の消灯、照明の間引きを実施しつつも、利用者に不便を感じさせることなく、効率性と環境 こ配慮した施設管理を両立した。

こういった取組は日常の館の管理に付随して行われるもので、効率性も両立しているといえる。

0

◎高水準で両立している、○両立している、△両立しているとまではいえない、×環境への配慮が不足している (参考)経費の状況(単位:円)

	収	入		支出					
項目	予算額	決算額	差引	項目	予算額	決算額	差引		
指定管理料	45,319,000	45,319,000	0	人件費	22,187,000	21,844,415	342,585		
補助金	0	904,000	904,000	事業費	5,827,000	3,996,740	1,830,260		
				施設維持管理運営費	14,693,000	14,308,471	384,529		
				その他	2,612,000	4,401,997	-1,789,997		
収入計	45,319,000	46,223,000	904,000	支出計	45,319,000	44,551,623	767,377		

2 指定期間全体を通じての目標・実績

(1) 指定管理者の選定及び指定に当たって重視された事項(選定委員会での主な意見又は市の意思決定理由)

重視された事項	総合センターの管理を安定して行う能力及びその管理運営に係る経費の縮減を図る。
指定管理者自身 が設定した目標	尼崎市における総合的な「人権センター」としての役割を目指す。

(2) 市と指定管理者の協議によって設定する目標

			· · imphiti - a · · · · i butan a a in in												
施	設のありたい姿	い姿 地域住民等の人権啓発の拠点であり、地域コミュニティの拠点となる施設													
指標 「人権問題に対して無関心もしくは興味がない」と感じる市民の割合(%)															
標	指定期間	R2	R3	R4	R5	R6	達成状況の評価								
指 目標値 - 19.67%															
標	実績値	20.78%	19.67%	24.00%			_								

	法令遵守							
	施設の管理運営や設備点検、訓練等を適正に行っているか	適正						
	貸与備品等について台帳を整備し、適切に管理しているか	適正						
	公文書管理条例の趣旨に則り、文書を管理しているか。協議録等、必要な文書を作成しているか	適正						
	個人情報保護条例や情報公開に係るルールを遵守しているか	適正						
	公共調達基本条例、暴力団排除条例、その他の法令は遵守されているか	適正						
	施設の経営状況							
ì	y 収支及びその結果報告や変更時の報告・連絡・相談が適切・適正にされているか							
	指定管理者自身の経営状況は健全か	適正						
1	± 危機管理−事故防止の安全対策や防犯・防災対策が適切にとられているか							
	災害時の対応について、市との協議・共有が図られているか	適正						
	災害時や緊急時のマニュアルを作成し、定期的に訓練等を行っているか	適正						
	災害時や緊急時の対応責任者、責任体制は整備されているか	適正						
	履行状況-提案時及び年度当初の計画等のとおりに業務を行ったか							
	年度事業計画書における計画どおりに業務が遂行されたか	適正						
	選定時の提案内容が実施されているか							
	業務マニュアルを定めるなど、安定的に履行できるよう取り組んでいるか	適正						
	関係性の構築							
	Danagan Lib A A Com State of the State of th							

月1回の意見交換会を行うほか、適時の報告・連絡・相談を互いに密にしている。

協働の状況(グループAは協働の相乗効果の視点、グループBはパートナーシップを踏まえた施設管理業務の状況)

施設所管課以外にも、市包括支援担当、スポーツ振興事業団とも協働し、いきいき百歳体操にフレイル予防体操を 追加することができた。センター職員2名がフレイル予防体操伝授会に参加し、効果的ないきいき百歳体操を実践 している。参加者の声掛けで、30名を超えるなど、協働の効果を出すことができた。

|指定管理者の考える成果と課題及びより良い施設維持管理に向けた市への提案事項(総括)

諸経費が高騰するなか、長寿命化工事に含まれない修理修繕を実施できたことは成果と考える。しかしながら、こ のような状況が長期化する場合は改めて協議が必要である。長寿命化工事が令和5年度に予定されているが、この 工事については今後の施設管理に重要なことであり、市との連絡をさらに密にする必要がある。 地域課題「買い物難民」の実態把握として移動販売を行っている(社会実験)。

市の考える成果と課題及びより良い施設維持管理に向けた指定管理者への提案事項(総括)

諸経費が高騰するなか、長寿命化工事に含まれない修理修繕を実施したことは評価できる。令和5年度は長寿命 化工事が予定されており、工事内容についてこれまで以上に指定管理者と連絡を密にするとともに、現在実施して いる事業をできるだけ休止することのないよう、利用者との連絡調整にも意を用いる必要がある。

地域課題への積極的な取組は地域総合センターの設置目的からも非常に重要であり、適宜情報を共有しつつ、地 域課題の解決に向けて協議していきたい。

双方の総括を踏まえた協議の結果及び今後の取組の方向性(単年度及び指定期間中の目標を踏まえて記載)

諸経費の高騰及び修理修繕については随時市と協議するなかで対応していく。令和5年度実施の長寿命化工事 に向けて、より緊密な連絡調整を行う。地域住民の参画・連携の更なる推進については、引き続き取り組んでいく。 定期的に実施している「地域総合センター運営委員会」を引続き開催し、地域住民や利用者の意見を反映していく とともに、地域課題についても積極的に取り組んでいく。

1 施設概要

施設名	尼崎市立地域総合センター塚口	施設所管課	総合政策局 地域総合センター担当					
施設住所	尼崎市塚口本町2-28-11	竣工	S49.8(築満52年)、S55.10(築満42年)					
設置目的	・地域住民をはじめとする市民相互の交流の促進 ・人権啓発意識の普及高揚の促進							
主な事業内容	市民相互の交流の促進、講座や講演会等を通	じた市民の	学びと人権啓発意識の促進・支援					
指定管理者名	株式会社 ハウスビルシステム	指定期間	自 R2.4.1 至 R7.3.31					

(2) 施設の政策的な特性に係る事項

施設分類	A(施設維持管理に加え、市の政策目的に沿った取組を、市と協働で展開していく施設)
指定管理者に 主として期待	■専門的なノウハウを生かした市の施策目的に資する事業実施■効率的な施設維持管理運営 □団体等の担い手としての成長
される事項	□その他()

3 市と指定管理者が年度当初に共有した目標及び達成状況等の評価

施設目標の達成に向けた取組(指定事業の効果的な実施、自主的な取組の実施)

今年度の取組方針や目標(前年度末又は指定初年度当初に協議し決定)

地域総合センターの基本的な事業である人権啓発の内容について、より魅力的なものとするよう取り組む。

同和問題については「水平社宣言」を草案した西光万吉ゆかりの西光寺住職を講師に招き水平社創立100周年特 別講演会を、現在のウクライナ情勢について日本ウクライナ文化交流協会の会長を講師として人権問題緊急講演 会「ウクライナの現状とわたしたちにできる人道支援」を開催した。また「北朝鮮拉致問題」について、特別講師に李 相哲氏を招き、上映会と同時開催するなど、多岐にわたるテーマや、講師に著名人を選定するなど、日ごろセン ターを利用したことのない地域の方の参加も期待できるよう工夫を凝らした。年間で講演会を8回、上映会を2回実 施。毎回盛況で、リピーターを生むなどの効果があった

(参考) 有効性に関する指標の設定及びその状況

効	
性	

旨標 ①: 職員の対応に関する利用者満足度(単位:%)											
年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
目標	-	-	-	-	-	-	90%				
実績	-	-	-	-	-	-	97%				
達成度	-	-	-	-	-	-	108%				
評価	-	-	-	-	-	-	0				

「世 煙 ②・ 建定への会加 し粉(単位・1)

日 15 ② ・ 時/スムッタ加入数(十世・八)											
年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
目標	-	-	-	-	-	ı	320人				
実績	-	-	-	-	-	-	397人				
達成度	-	-	-	-	-	ı	124%				
評価	-	-	-	-	-	-	0	,			

②目標を大きく上回った/上限値に近い実績で推移している、○目標を(概ね)達成した、△目標未達(事情あり)、×目標未達(事情なし)

<u> ①決められた指定管理料内で、市民サービスが維持・向上されているか</u>

今年度の取組方針や目標(前年度末又は指定初年度当初に協議し決定)

人権啓発事業を充実させつつ、利用者アンケートを元に設備等の更新を随時実施する。

実施結果及び評価

和室2部屋の畳の表替えを行った。トイレの洋式化も可能な範囲で順次行っている。 また近隣住民とコ ミュニケーションを図り、より良好な関係を構築できるよう、植栽の剪定や害虫駆除等を実施した。

市民サービスが、◎大幅に向上した、○維持・向上した、△低下した(特別な事情あり)、×低下した(事情なし)

②効率性と環境に配慮した施設管理とを両立できているか

今年度の取組方針や目標(前年度末又は指定初年度当初に協議し決定)

電気使用量の抑制と利用者の満足度向上のため、照明をLEDに交換するほか、グリーン購入を実施するとともに、 こまめな電気のON・OFFや空調機の適正な温度設定に努める。

実施結果及び評価

2階3階の廊下およびトイレの照明をLEDに交換したほか、適宜館内を巡回して状況を把握して利用者 が快適に過ごすことができるよう努めるとともに、照明や空調をこまめにON・OFFして電気使用量を抑 制するなど、概ね取組方針どおりに取り組むことができた。こういった取組は日常の館の管理に付随し て行われるもので、効率性も両立しているといえる。

0

0

◎高水準で両立している、○両立している、△両立しているとまではいえない、×環境への配慮が不足している

(参考)経費の状況(単位:円)

	収	入		支出					
項目	予算額	決算額	差引	項目	予算額	決算額	差引		
指定管理料	43,438,000	43,438,000	0	人件費	19,785,000	20,018,142	-233,142		
補助金	0	219,000	219,000	事業費	3,000,000	3,862,224	-862,224		
				施設維持管理運営費	12,160,294	10,540,986	1,619,308		
				その他	8,492,706	8,934,702	-441,996		
収入計	43,438,000	43,657,000	219,000	支出計	43,438,000	43,356,054	81,946		

2 指定期間全体を通じての目標・実績

(1) 指定管理者の選定及び指定に当たって重視された事項(選定委員会での主な意見又は市の意思決定理由)

重視された事項	総合センターの管理を安定して行うとともに、その管理運営に係る経費の縮減を図る。
	利用者(市民・地域住民)の視点に立ち、高い満足度が得られる管理運営を目指す。 ・人権啓発意識の普及高揚・魅力ある事業展開・市民福祉及びサービスの向上

(2) 市と指定管理者の協議によって設定する目標

施設のありたい姿 地域住民等の人権啓発の拠点であり、地域コミュニティの拠点となる施設												
目	指標	「人権問題)	人権問題に対して無関心もしくは興味がない」と感じる市民の割合(%)									
I標指標		R2	R3	R4	R5	R6	達成状況の評価					
	目標値	-	-	25.88%								
	実績値	39.13%	12.63%	13.45%			_					

	冷遵守							
	殳の管理運営や設備点検、訓練等を適正に行っているか	適正						
	テ備品等について台帳を整備し、適切に管理しているか	適正						
	公文書管理条例の趣旨に則り、文書を管理しているか。協議録等、必要な文書を作成しているか							
	個人情報保護条例や情報公開に係るルールを遵守しているか							
	共調達基本条例、暴力団排除条例、その他の法令は遵守されているか	適正						
	段の経営状況							
ì								
	指定管理者自身の経営状況は健全か							
1	± 危機管理−事故防止の安全対策や防犯・防災対策が適切にとられているか							
	唇時の対応について、市との協議・共有が図られているか	適正						
	 手時や緊急時のマニュアルを作成し、定期的に訓練等を行っているか	適正						
	 手時や緊急時の対応責任者、責任体制は整備されているか	適正						
	履行状況-提案時及び年度当初の計画等のとおりに業務を行ったか							
	年度事業計画書における計画どおりに業務が遂行されたか							
	定時の提案内容が実施されているか	適正						
	タマニュアルを定めるなど、安定的に履行できるよう取り組んでいるか	適正						
	系性の構築							

所管課担当課長、係長、指定管理者の本社担当者、施設所長の4名で毎月の定例会を開催し情報共有を行うほ か、所管課担当職員が訪問する機会が増え、施設職員も令和3年度よりさらに質問や相談が行いやすい関係を構

協働の状況(グループAは協働の相乗効果の視点、グループBはパートナーシップを踏まえた施設管理業務の状況)

人権啓発講演会を企画するに当たっては、テーマ設定と講師選定が重要であるとの認識のもと、市を通じて兵庫県 の人権担当部局から広く情報提供を受けるなどし、魅力あるものとすることができた。さらに、市を通じて兵庫県隣 保館連絡協議会等の開催する講演会等にも積極的に参加することで、職員一人ひとりが人権課題について認識を 深め、社会情勢に沿った内容を選定できるよう、研鑽を積んでいる。

┃指定管理者の考える成果と課題及びより良い施設維持管理に向けた市への提案事項(総括)

人権啓発に関しては実績が乏しいという課題に正面から取り組むことで、魅力的な市民向け講演会や、市職員対 象の研修会の開催ができたことは大きな成果と考え、少しずつ実績を積み重ねている段階である。しかし、利用者 を年代別に分けると、青少年~成人の利用数が少ないことが課題である。特に地域交流事業についてもより多くの 方の参加を目指し、現在の参加者の状況を分析して、地域住民の高齢化が進んではいるものの、若い世代も巻き 込んでいけるような内容の事業を企画するなど、今後とも、地域総合センターの役割に立ち返り、魅力ある事業の構 築について取り組んでいきたい。そのためにも、地域の各種団体や各機関と連携して街頭キャンペーンまたはそれ に代わる人権啓発事業を実施する。施設維持管理については老朽化による不具合が多くあることから、適宜、市と 協議していきたい。

市の考える成果と課題及びより良い施設維持管理に向けた指定管理者への提案事項(総括)

地域総合センターの本来的な役割に立ち返って正面から人権啓発に取り組む姿勢は評価できる。今後は地元の 各種団体や各機関との連携のもと、街頭キャンペーンなどの人権啓発事業や、地域交流事業にも取り組んで貰い たい。施設の老朽化については適宜、対応を協議していきたい。

双方の総括を踏まえた協議の結果及び今後の取組の方向性(単年度及び指定期間中の目標を踏まえて記載)

令和2年度の指定管理者監査での指摘を真摯に受け止め、本社と現場の連携はもとより、職員の指導育成に意を 用いながら、今後とも魅力的な人権啓発に積極的に取り組んでいく。併せて、地域交流事業にも取り組み、今まで 以上、地域住民にセンターの役割の周知を図る。施設の老朽化対応については適宜、協議していく。